

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

この科目は、保育実習Ⅳ（施設）のための科目である。保育実習Ⅱでの経験を踏まえて、実習のための基礎知識の講義や演習、事例研究等を行う。事前指導では社会福祉施設・機関で利用者や利用者家族へ相談援助の実務経験がある教員を中心に、社会福祉施設における実習の目的や内容、実習を行う上での心構えやマナーをはじめ、施設の種別ごとに実習の概要を指導する。施設の種別は幅が広いので、共通する知識の講義とともに、必要に応じて実習施設の種別ごとにグループに分けて授業を行う。事後指導では実習での学びを振り返り、社会福祉施設で行われる支援への理解を深め、自身の支援者としての課題を自覚できるように指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	施設実習の基礎知識（目的、内容、課題、実習生としての心構え）
第 3 回	施設実習の体験談を話す ―保育実習指導Ⅱにて、実習の体験談を話す―
第 4 回	施設実習の理解 ―DVD を見る―
第 5 回	施設実習の理解と記録 ―模擬日誌を書く―
第 6 回	施設種別の理解と演習 ―社会福祉施設と保育士の役割、相談援助について―
第 7 回	実習計画について ―実習目標をもとに実習計画を立てる―
第 8 回	個別支援計画を理解する
第 9 回	〔外部講師〕施設職員の方のお話をうかがう
第 10 回	施設実習の実際について① ―利用者とのかかわり方―
第 11 回	施設実習の実際について② ―利用者とのかかわり方と記録―
第 12 回	社会福祉施設の理解を深める ―運営ハンドブックをもとに―
第 13 回	利用（児）者・入所（児）障の理解 ―対象者の理解を深める―
第 14 回	実習前オリエンテーション
第 15 回	施設実習のまとめと今後の課題
第 16 回	総まとめ

到達目標

- ・実習施設で行われている支援を理解し、さらに利用者の背景や生活課題を把握した上で、利用者に適切にかかわることができる。
- ・人権の尊重、自立支援、利用者の自己決定、秘密保持等をふまえ、相談援助を理解した支援をすることができる。
- ・実習計画にもとづいて実習を進めることができる。
- ・実習日誌を円滑に記入することができる。

履修上の注意

欠席をしないこと。やむをえず欠席する場合は、必ず連絡をすること。課題は必ず提出すること
連絡なく欠席をした場合、実習を中止することもある。
外部講師を招聘する授業を予定している。

予習・復習

予習として、社会福祉政策や社会福祉施設の動向について、日常的に関心を持つこと。
復習として授業プリントをよく整理すること。

評価方法

授業での課題の取り組み方 30%、課題の提出状況 30%、課題の内容 40%
授業や授業課題にどのように取り組んだかが重要となる。

テキスト

- ・教科書名：保育士をめざす人のための施設実習ガイド
- ・著 者 名：河合高鋭・石山直樹
- ・出版社名：みらい
- ・出 版 年（ISBN）：2020 年（9784860155032）